



まつひさ

美里町立松久小学校学校だより
令和8年 3月2日号 NO13

春よ近し！！

いよいよ1年間の締めくくりの月、3月を迎えます。それを待っていたかのように、春を思わせるような暖かさの日が増えてきました。「春よ、来い」正にそんな季節となってきました。

令和7年度も最後の1ヶ月となります。この1年は大きな成果や見通しが持てる1年となりました。この1年間の成果が残せたのは、子どもたちと先生方の努力のたまものと思いながら感慨深く振り返ってしまいます。全国学力学習状況調査やC R T学力検査では、昨年度を上回る成績を収め、運動会では、子ども達が互いに健闘をたたえ合う姿、笑顔で競技を終えた姿には、心地よく充実した思いが持てました。これは象徴的な出来事であって、このほかにも他者への思いやりや心地よい挨拶など数値や目に見える出来事とならないもの等、学び舎としての学校で数多くの成長がありました。学校に春が訪れたと感じるのは、やはり桜の開花です。新1年生の入学に合わせたかのように咲く年もあれば、もっと早く卒業生を送り出す時期に満開を迎える年もあります。桜の木はまだ裸のままでも何の変化もないように見えますが、よく見てみると枝先にはたくさんの木の芽がついています。変わらないように見える樹木も、しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、花を咲かせたり葉を芽吹かせたりする準備を怠りなく進めているのです。この3月は、ちょうどそうした時期です。6年生は卒業・進学へ向けて、1年生から5年生は進級へ向けて、それぞれの学年の仕上げをする時です。勉強や運動はもちろん、友達との関わりやあいさつなどの日常生活を見直し、がんばってきたことやできるようになってきたことを確かめる時期です。そして、得意なことを伸ばし、苦手なことは克服できるように、毎日の学習や生活に真剣に取り組み、しっかり力を付けてほしいと思います。季節は、暖かい日と寒い日を繰り返しながら本格的な春へと歩んでいきます。それぞれの春に向かって、一日一日を大切に積み上げていきましょう。

熊谷市立妻沼小学校 板倉伸夫校長先生の話から

2月2日、なかよし学級を舞台として、特別支援学級の授業研究会を行いました。その際、指導者である板倉先生の指導を神宮先生がまとめてくれました。この部分は、家庭教育にも通じるものがありますので、家庭用に修正してお知らせします。

①子どもの自己評価は保護者評価で上がる。

「もっと褒める必要がある」です。例えば「目を見て話を聞いているね」という評価や「理由を話してから、〇〇したいと話しているところがいいね。」というポイントをおさえた評価等、肯定的で学習にも活かせる声をかけてあげることが、子どもたちを学びに向かわせていくのだらうなと思います。

②ワーキングメモリが学力を支えている。

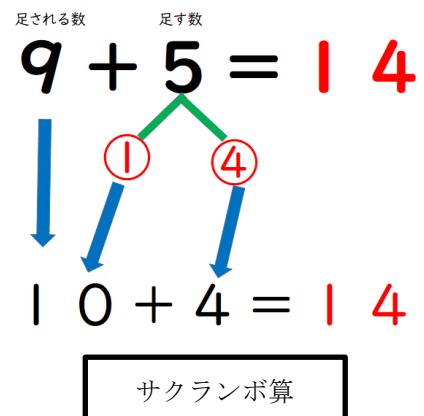
ワーキングメモリとは、目標達成のために情報を一時的に記憶し、思考や分析、判断を並行して行う脳の機能で「脳のメモ帳」とも呼ばれ、短期記憶とは異なり、情報操作を伴います。ワーキングメモリが低いと、情報を一時的に保持しながら処理する能力が弱く、日常生活や学習で困難が生じることがあります。ワーキングメモリを直接的に増やすのは難しいという見解もありますが、効率的に活動できるようトレーニングや工夫で向上させられるそうです。

その中で有効な方法が、「聞くこと」が重要だと話をされていました。

勉強ができるようになるには、「聞くは一丁目一番地」と言われています。そのワーキングメモリを鍛える方法とは、家族で話した後「この内容はどんな話だった？」と聞いたり、「この話を簡単に言うത്？」と質問をする方法が有効です。相手の話を真剣に・注意深く聞く事を日々トレーニングにすると良い事を知りました。

③自動化できていないということは、知識を自在に扱えていないということ。

自動化を簡単に言えば、1年生の時には、足し算をする時には、サクランボを書いて。わかりやすく計算することをしていたはずが、いつの間にかそのサクランボは書かなくなり、頭の中でスラスラ計算をしているという状態を自動化されている状態と言います。算数の様々な計算が自動化されていれば、計算が正確にスムーズに終わりにできます。では、この自動化を様々な場面で使えるようにするためには、どうすれば良いのでしょうか？それは、子どもたちの頭の中で自動化できるまで、学校で教えられた方法で丁寧に問題や計算を解く事が大切ということです。家で宿題を見てもらっていると、子どもたちが時間をかけて計算をしているとヤキモキするものです。考えてみれば、大人は自動化が出来ている状態、しかし、子どもたちは自動化に向かっている最中。大人のやり方で混乱させるのは良くないかもしれません。



熊谷市立妻沼小学校 板倉 伸夫 校長先生の紹介 埼玉大附属特別支援学校や熊谷市立富士見中学校、熊谷市教育委員会等での勤務し、埼玉県特別支援学級設置校校長会 会長等の役職を歴任。令和5年から妻沼小学校長。

板倉伸夫校長先生が取り上げられた記事はこちらから
[4年間「不登校ゼロ」！校長が大切にしたい4つのポイントや実践に学ぶ「安心して通える学校づくり」](#) 就学時健診に着目した「科学的アプローチ」
[も | 東洋経済 education×ICT | 東洋経済オンライン](#)

特別支援学級について知っておいていただきたいこと

松久小学校は、学力向上や授業の質の向上について真剣に取り組んでいます。それだけではなく、特別支援教育にも力を入れています。上の記事にあったように、熊谷市の学校から埼玉県内でも有数の指導者を呼んで特別支援学級の授業の質を向上させようとがんばっています。

では、松久小学校が特別支援教育に力を入れているのはなぜなのでしょう？
それは、先生方は、子どもたちの学力向上をさせたいと思うのと同じように、「特別支援教育は特別な教育ではない。その子どもに合わせた教育をもっと丁寧に行えるようにしたい」との思いがあるからです。先生方もがんばっていますが、子どもたちは更に様々な活動に努力しています。
そんな子どもたちについてお願いがあります。周囲の人々が特別支援学級について正しく理解することは、子どもたちが安心して学校生活を送るために不可欠です。具体的には、
「障害特性の理解をお願いします。（障害による学習上の困難さやつまずきがあること）」
「個別な学びが提供されることへの理解をお願いします（一人ひとりの興味や得意なこと、苦手なことに合わせた学習活動がおこなわれること）」
「インクルーシブな環境の提供への理解をお願いします（学びやすい環境で学んでいること）」
小学生には、なかなか難しい内容だと思いますので、家庭で補足をしていただけたらと思います。
そして最後に、松久小学校の仲間であることを子どもたちに分かるように話していただけたらと思います。

「こんな子供たちを育てます」
「万葉の里に豊かな学びで咲き誇り、未来を切り拓く松久っ子の育成」
学校教育目標
(知)本気で学ぶ子 (徳)やさしい子 (体)たくましい子

日	曜	3月の主な行事
2	月	A5日課 算数タイム
3	火	読み語りさんありがとうの会
4	水	基礎タイム 1・2年 A4日課
5	木	A6日課 パソコンタイム クラブ活動⑨ スマイルタイムプラス
6	金	国語タイム 1・2・3年 A4日課
9	月	A5日課 算数タイム
10	火	読書タイム
11	水	短学活 1・2年 A4日課
12	木	A5日課 表彰朝会 一斉下校
13	金	短学活 卒業式予行 1・2年 A4日課
16	月	B5日課 短学活 スプリングスクール①
17	火	B5日課 短学活 スプリングスクール②
18	水	B5日課 短学活 スプリングスクール③ 1・2年 B4日課
19	木	B5日課 短学活
20	金	春分の日
23	月	B5日課(1～4・6年 13:30 下校、5年 14:30 下校) 短学活 6年修了式 卒業式準備(5年:5校時) 給食最終日
24	火	B3日課(11:35 下校) 卒業式 臨時休業日(1～4年)
25	水	B3日課(11:35 下校) 短学活 6年臨時休業日
26	木	B3日課(11:35 下校) 修了式 6年臨時休業日
27	金	学年末休業日(～3月31日)